

50 エドガワミズゴマツボ

(ミズゴマツボ科)

兵庫県ランク:C

Stenothyra edogawensis

環境省ランク:NT

種の概要

宮城県・福井県以西の本州、四国、九州に分布し、内湾や汽水域の砂泥や岩礫上、シオグサやアナアオサなどの葉上で生活する。カワグチツボ(貝類Cランク)と同所的に生息することが多い。殻高2mm程度の卵形をした微小種である。殻表面は平滑で、1~数列の微細な刻点列彫刻があり、体層背面に雲状模様がある。蓋は石灰質で内側に小突起がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	△			△

県内分布

西宮市、加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、赤穂市、豊岡市、洲本市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。県内では、瀬戸内海流入河川、淡路島南部及び中部、日本海側流入河川では円山川の汽水域に生息し、干潮時の浅場でカワグチツボとともに確認できる。生息地での個体数は多いが、年や季節による消長が著しいのはカワグチツボと同様である。

保護上の留意点

垂直護岸によって急激に深場となる汽水域では生息がほぼ不可能であり、干潮時に極めて浅い緩傾斜の水場ができる干潟を消失させないこと。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修